

第3回広陵町地域公共交通活性化協議会 議事要旨

日 時：平成23年4月13日（水）14：00～15：30

場 所：広陵町役場3階大会議室

出席者：平岡会長、笹井委員、阪口委員、東委員、橋本委員(代理：土本様)、
東委員、中澤委員、佃委員、西口委員(代理：山本様)
増本委員(代理：後藤様)、服部委員、奥谷委員

1 開会進行（事務局）

香芝警察署長及び奈良運輸支局長の紹介（人事異動に伴う委員の変更）

2 平岡町長による挨拶

3 経過報告

【事務局説明】

・新制度が具体化されてきたので、要件を満たすため、生活交通ネットワーク計画を策定中であります。予算補正等の議会審議や議会協議会に諮り、確認してまいります。

4 議 題

運行路線、運行ダイヤ、ルート停留所、運賃の決定について

【事務局説明】

・資料のとおり説明

【質疑応答】

笹井委員（広陵町議会）

ルートについてまだ協議中なのか、それとも確定なのか。

事務局

ほぼ確定であります。土庫病院周辺については一部協議中でございます。

今後、大和高田市、土庫病院、運行委託業者、高田警察署と協議してまいります。

佃委員（奈良交通運輸産業省）

ダイヤについてですが、自動車運転者改善基準に沿った内容になっているか。（連続運転時間、労働時間週40時間等）ダイヤの設定には委託業者十分な協議を行ってほしい。

事務局

基準を満たすように、各路線につきましては、運転手2名を想定しております。

後藤氏（奈良交通：増本委員代理）

標準発車時刻表は協議のベースと考え、委託業者が決定したのち、現在のダイヤで運行が困難な場合は修正等検討いただきたい。

また新制度において、幹線路線について、バス事業者による自主運行ということもあり得ると説明があったが、その場合、町としては民間バス事業者の運行に対する赤字補填となると思うが、本来は距離に応じた運賃体制になっているが、広陵町の運賃体制は定額200円となっているので、本来の運賃を引き下げると欠損額が増え、国や県が補助してくれるか等の問題があるので、運輸支局等と協議をしていただきたい。

高田土木事務所

PDCA サイクルの実施という説明があったが、ルート毎の需要予測、及び費用対効果は。

事務局

ダイヤにつきましては、委託運行業者が決定後に調整いたします。

バス事業者による自主運行につきましては、補助金を獲得し、町の負担を軽減できるよう取り組んでまいります。

需要予測につきましては、年間6万人、1日平均165人（1路線55人）を想定しております。

運賃収入として1,200万円、委託料等の支出は6,000万円を見込んでおり、差し引きすると4,800万円になるが、国等の補助金を活用して負担を軽減してまいります。

奈良運輸支局

補助金について説明。

議決執らず。

広陵町地域公共交通運行管理業務委託指名型プロポーザル審査委員について

【事務局説明】

・資料のとおり説明

全員一致で承認

平成22年度広陵町地域公共交通活性化協議会決算について

【事務局説明】

- ・資料のとおり説明
- ・笹井監事より監査結果報告

全員一致で承認

平成23年度広陵町地域公共交通活性化協議会予算について

【事務局説明】

- ・資料のとおり説明

全員一致で承認

5 その他

公共交通運行事業費について
今後のスケジュールについて

【事務局説明】

- ・資料のとおり説明

【奈良交通】

車輛についてでございますが、本来であれば車輛発注から4ヶ月程度で納車されるが、東日本大震災の影響で本来の工期よりも遅れるようであります。

補助金についてでございますが、当社で試算をいたしましたところ、幹線路線は仮に当社が自主運行をした場合は、国と県をあわせて1,000万円程度の補助金を見込めるが、色々な条件がありますので、今後実施に向けて調整等が必要であります。

【県道路交通環境課】

現在想定されている3路線のうち、幹線路線がメインになると考えられるが、今後継続して実施するのは住民の利用が重要なので、広報周知、近隣バスネットワークとの連携、乗り継ぎ環境の整備が一層の利用促進に繋がるので、検討していただきたい。

【事務局】

検討いたします。

会長

色々ご意見をいただきありがとうございました。
ご意見いただいたことを今後進めてまいります。

閉会の挨拶（町長）